

3月のテーマ通信

手旗やモールスは多くのスカウトがにが手でいやなものの一つですが、どうして私たちはこのいやなものを身につけなければならないのでしょうか？

科学の発達している今日、通信ということを目的とするならば、それらは時代おくれたといえるかもしれません。手旗やモールスをいちいち暗記しなくても、機械がそれらの代りをしてくれます。

スカウトには、危急の場合に通信するという目的があり、役だとなければならないという使命は、むろんあります。しかし、そればかりが目的ではないのです。スカウティングは通信士を養成するものではありません。人間としてりっぱな公民になる教育をしているのです。それには、人格と健康と技術と奉仕の4本の柱がたいせつです。手旗やモールスも、人格を高め、健康を伸ばし、手技技能を磨き、他の人々のために役だつ奉仕をすることのできる人間一だれからも愛される人間、すなわち公民をつくる方法として、身につけるわけです。いかえれば、ちかひ、おきてを身につけるひとつだということ。手旗、モールスそのものが目的ではありません。とこまでもこれはスカウティングの方法の中の一つなのです。ですから、どんなに通信技術が進歩しても、スカウトのような公民という人間が必要にならない限り、これからは、手旗、モールスは廃止にはならないでしょう。(残念！)

3月のプログラム

- 隊 3/5 小学校6年生対象特別訓練 9:30～ 昼食待参 担当隊長
 3/18 14:30～18:00 進級テスト 担当副長 17日までに受けたい課目を副長(44)5303まで報告。
 3/24～25 18:00～翌日12:00 夜間ハイク(隊集会)
 3/25 19:00～21:00 クリナー会議(ハイク現地でやるわけしたときはぶかれる。)

班 各学校とも前半は試験があって、また後半は指導者が各奉仕訓練参加のため、いつもの月のプログラムより多少ちがって、むりなプログラムではありますが、各自がんばって参加して下さい。

班名	3月	5日	11日	12日	18日	19日	24日	25日	26日	27日	28日	31日
つはめ			集会 14:30～17:00		進級 テスト	訓練 14:30～	夜間ハイク 18:00～12:00		集会 13:00～			
こい		訓練 14:30～16:30					ひくい山 1本杉大谷 スカウトの 会-2日				集会 19:30～11:30	
わし		6年生 特別訓練 昼食待参 9:30～			14:30 ～18:00	訓練 1:00 長持 ～11:30		G会 11:00 ～21:00		訓練 9:00 長持 ～11:30		集会 7:00 長持 ～10:30

集会はいつも15分まえに集合するつもりで、行く準備をしましょう。

冬の作業

スカウトビンズ知識

冬のあいだの家庭内での訓練のひとつとして、モールス符号をぜひおぼえましょう。スカウト同志との手紙は、なるべくモールス山文字(M M M M M M M M)で書くことにすると、早く上達します。

モールス符号は、1852年、アメリカの肖像画家モールスが、フランス留学からかえる途中、汽船シュリー号の船内である学者から電信機の話を聞いて興味をもち、苦心の結晶を成したものです。

符号はどうしても暗記しなければなりません。暗記というものは一種の技術です。

それには第1に観察—スカウティングでは観察を重視しますから、これはりっぱな訓練になります。第2に頭の中に入れて一すなわち深く印象づけることです。それには大脳のはたらきをすなおにして、これをうけいれる態度が必要です。第3にわすれないこと、すなわち記憶力ということです。そのためには何度も復習しなければなりません。根気がいります。また完成してからも、たえず持っていないとわすれます。これらの努力はスカウトに絶対必要です。

方法は以上の3つにもとづきますが、具体的にどうすればよいか、班で研究してみましよう。独自の考えで生まれたものはしっかり身につきます。

隊夜間ハイクについて

スカウトはどんな条件の中でも行動しなければなりません。まっ暗な道を明りなしで行くことだってあります。そこで、今回はある想定(決められた状態を想像すること)にもとづいた夜間ハイクを経験してみたいと思います。

くわしいことは、あとで班長に連絡しますから、注意して下さい。でも、現地で仮眠するからといって、新しく買う必要はありません。シラフ(寝袋)は、シニアやクリナーになってからでも、おそくはないのです。

この訓練も、保護者の承諾を必要としますから、雪中ハイクの用紙と同じ承認書を作って班ごとにまとめて、隊長のところへ、3月23日までに提出しておいて下さい。

訂正、雪中ハイク参加承認用紙 証認→承認 の誤りです。おわびいたします。

「世界スカウト友情の日」募金について

京都府連盟より

世界86ヶ国に、この運動が広まり、1千万人を越えるスカウトがいるまでに伸びましたが、これは、創始者の希望である。すべて少年に、からは遠い現実であります。

創始者の日に、この希望を実現するために、世界のスカウトの友情を示すのか、この募金の目的です。

募金は、後進国のスカウティングの発展、とくに、アフリカ諸国のスカウティングの発展に、主に使われます。

スカウト隊員 1人 10円

指導者(団委員も含む) 1人 100円 3月14日までに班ごとに隊長のところまで。

2月隊行事ごあんない 京都三十八団少年隊

今日2月22日は、ボーイスカウト運動の創始者ベーデンパウエル卿(1857~1941)の誕生日ですね。我々がスカウトとして今日あるのも、パウエル卿のおかげです。その誕生の月にあたり、スカウトって何人だろうと考えてみませんか、そして少しでも、なんだかわかるようだったら、「スカウトって、いいなあ。」と大声で叫んでみても、ちょっとはすかしく思わないはずです。それより気持ちがスッとするから不思議なものです。

さて、市中では春のような日が、たびたびありますが、山はまだ冬です。もちろん、雪もあります、大きなつららだってあります。足がムズムズしてきました。そこで、雪うです、雪中ハイキングです。ということで次のように雪中ハイキングを計画しました。

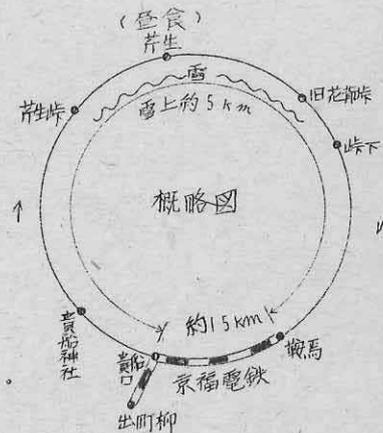
日時 1967年 2月 26日(日) 8:30 団本部 17:30 解散

方面 北山、芹生

目的 隊集會、誓式、雪上体験

費用 交通費(出町鞍馬往復料金)

携行品 班集會で指示をうける。



○注意事項

- 無理のない参加を希望します。
- 参加証認書がないときは参加を認めません。
- 不参加の場合は、理由を書いて提出の事。
- 服装その他の携行品について、スカウトは質素であることをわすれない。

以上連絡します。1967.2.15

きりヒリセン

参加証認書

氏名 _____

上記の者、この度の雪中ハイキング参加を証認します。

1967 2月 日

保護者 _____

印

これは2月25日(土)のグリーンバー会議に班長から隊長へ渡してもらうことになっていきますから、それまでに班長のところへ提出しておいてください。